

令和3年度決算審査評価事業 調査報告書

(総務生活分科会 No.1)

| | | |
|---|------------------------------------|-----------|
| (所属課, 事業コード) 事業名 | (政策秘書課, 5505) ホームタウン推進事業 ※P. 43 | |
| 予算額 | 令和3年度決算 | 175,049千円 |
| | 令和4年度 | 674千円 |
| | 令和5年度(案) | 781千円 |
| <p>【決算審査における検討点, 争点】 (令和3年度決算審査での提言等)</p> <p>クラウドファンディング型ふるさと納税然り, 本事業でこれまで実施してきたイベントなどは, 鹿行地域外との交流人口に目を向けた取組が多かった。今後は, ホームタウン内に目を向け, まち全体でアントラーズを応援し, そのことによって, スタジアムを中心に, 市, 地域が盛り上がるように取り組んでいくべきである。小中学校の全校応援や選手との交流会, キャリアデザイン教室など教育分野での連携事業のように, 鹿行地域内での盛り上がり期待できる取組を継続していくとともに, 街なかでのフラッグ掲出など, 市民・クラブ・行政が一体となれるような取組の工夫を期待しつつ, 今後の方向性を「継続」とする。</p> <p style="text-align: center;">※決算審査時の評価: 「やや評価できる」 今後の方向性: 「継続」</p> <p>【当初予算への反映状況】 (決算評価がどう当初予算へ生かされたか)</p> <p>市, 地域を盛り上げるための予算を前年並みに確保する。令和3年度はクラウドファンディングがあり事業費が増額となったが, 令和4年, 5年度は経常的な経費で落ち着いている。また令和4年度と比べて, 令和5年度予算は10万円程度の増額であり評価は困難ではという意見や感想も聞かれた。</p> <p>また, 令和5年度は, 市としては, 「スタジアム周辺整備推進室」を新設し, 鹿島アントラーズFC, そして新スタジアムを核としたまちづくりの検討を本格的にスタートさせる年となる。賑わいの在り方, アクセスの方法, 支援等について検討をしていかなければならず, その検討するための準備は整えたところである。</p> <p>【調査結果】 (総括)</p> <p>本事業は市全体の企画, 調整の役割が大きいとため, 単体では, アントラーズホームタウン協議会の運営や鹿嶋市アントラーズPR大使によるPR活動, スタジアムでのイベント開催など事業費自体は少額となる。</p> <p>またホームタウンの推進を行うならば, アントラーズホームゲームのホームタウン</p> | | |

の観客数の割合は現状全体の3割程度でせめて7割まで上げる目標を掲げてもよいのではとの意見が出された。

今後もホームタウンとして、スタジアムの所在地としてアントラーズを応援しやすい環境を整備すべき、先進事例を参考にしたり、スタジアム周辺の活性化を促進させるべきとの意見や、現行のスタジアム周辺の活性化に取り組むべきとの意見が出ている。ホームタウンとして市内全体の盛り上がりやJリーグ開幕時のような雰囲気が出せればよいと考えている。スタジアム移転の問題もからめ、市民にとってスタジアムやクラブは必要不可欠なものであると認識し、市としてホームタウンの推進やスタジアムを是が非でも存続するよう今後も継続した努力と取組を求める。